

モーリシャス豆知識・小話 第11号

2018年3月

在モーリシャス日本国大使館

(1) モーリシャス七不思議

モーリシャスに来て間もなく1年と4ヶ月。まだまだビギナーの域を出ませんが、今回はこれまでの日々の生活の中で遭遇した、依然として解けない(納得のいかない?) 謎を列挙してみます。皆さんはこの国のどういうところを不思議に思いますか?

- ①言葉のチャンポン：相変わらず、一つの会話の中に英語とフランス語とクレオール語が混在すると頭痛がしてきます。
- ②なぜ出さない方向指示器：自動車もオートバイも、ウィンカー出さずに突然曲がるのは、お願いだからやめて!
- ③大事なときにいない責任者：ホテルで催す大事なイベントの当日に、担当の責任者が休みを取るってどういうこと?
- ④お買い得はどっち：牛乳パック6本セット、お得そうだから買おうか。あれ?バラ売りより単価が高いのはなぜ?
- ⑤オープン過ぎるバス：走行中でもドア全開のバス。最初故障かと思ったけど、1台や2台ではないですね。恐怖(汗)。
- ⑥揚げ物、油モノがお好きでしょ?：モーリシャスの人って好きですね、何かと脂っこいサモサ、マクド、ケンタ、ビリヤニ等々。
- ⑦スーパーの無愛想なレジ係：お願い、笑って。何が不満なの?スマイル! 何で客の方から微笑まないといけないの!

(2) 大統領の辞任

3月23日、ファキム大統領が以前自身が所属していた国際NGOの銀行カードを使って私的な買い物をしていたことが発覚し、辞任に追い込まれました。ちょっとした不注意だったのだからと、当初は辞任を頑なに拒否し18日間に及ぶ抵抗を見せましたが、政府や国会議員たちにも見放され、最後は国家の安定を最優先に考えるとの理由で辞任することを決意したようです。

当国初の女性大統領、リベリアのサーリーフ大統領が辞めた後はアフリカで唯一の女性大統領でした。かつて世界に最も影響力のある女性100人にも選出されたほどの聡明な学者大統領で、もったいない気もしますが、たとえ既に過去の話でも、たとえ返金したとは言え、所属機関の公金を私用に使ったことを厳しくとがめ、大統領に(大統領だからこそ)辞任を求めるこの国の倫理観はやはりたいしたものだと思います。

なお、ファキム大統領は上記 NGO の元創設者とは仲違いしているようで、当地での公金横領、不正取引、さらに銀行口座の個人情報暴露など、同人の諸悪事を暴くべく調査委員会の立ち上げを宣言しました。本件、まだまだ尾を引きそうです。